

1. プログラム概要

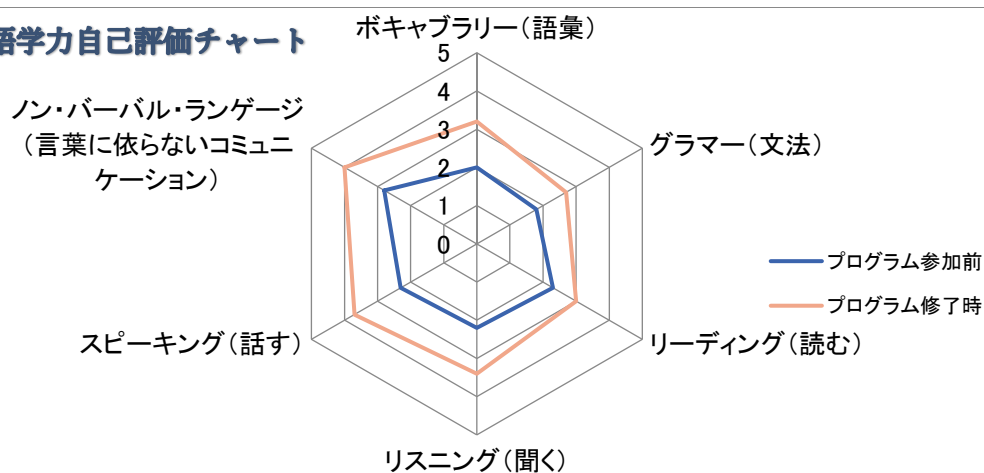
プログラム名	カナダ短期語学留学 @ブリティッシュコロンビア大学(UBC)
実施期間	2024 年 8 月 29 日（木）から 9 月 25 日（水）までの 4 週間
対象	英語やカナダ文化に興味がある学生
目的及び内容	カナダ第 2 位、世界の大学ランキングトップに入るブリティッシュコロンビア大学にて、英語を学ぶ。 また、英語習以外に、主にブリティッシュコロンビア大学の学生がカルチャルアシスタントとして行う課外活動にも参加できる。7 万人を超える学生が学ぶ広大なキャンパスで、語学運用力と異文化理解の醸成を図る。

2. プログラム成果報告は下段表参照（全参加者のスコア平均）

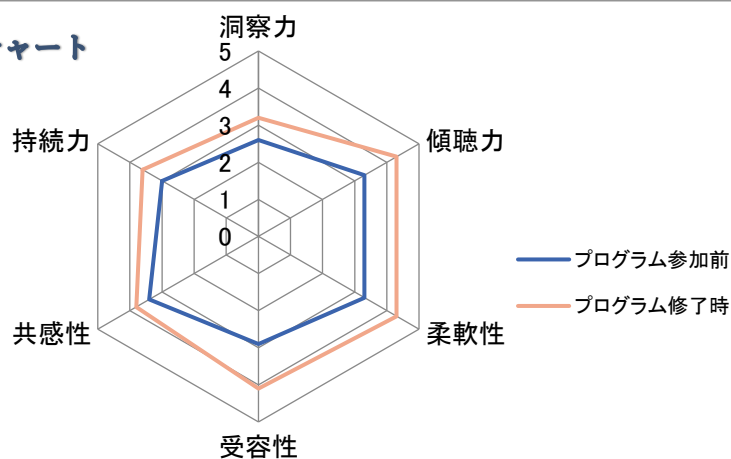
項目	要素	参加前	修了時
コミュニケーション力	ボキャブラリー（語彙）	2	3.2
	グラマー（文法）	1.8	2.7
	リーディング（読む）	2.3	3
	リスニング（聞く）	2.2	3.4
	スピーキング（話す）	2.3	3.7
	ノン・バーバル・ランゲージ（言葉に依らないコミュニケーション）	2.8	4
	語学力合計点	13.4	20.0
異文化適応能力	洞察力	2.6	3.2
	傾聴力	3.3	4.3
	柔軟性	3.3	4.3
	受容性	2.9	4.1
	共感性	3.4	3.8
	持続力	3	3.6
	異文化適応能力合計点	18.5	23.3
人間力	主体性・積極性	3.1	4.2
	チャレンジ精神	3	4.5
	発信力	2.8	3.2
	責任感・使命感	2.5	3.5
	協調性	2.6	3.3
	ストレスコントロール力	3.5	3.9
	規律性	3.4	4.2
	人間力合計点	20.9	26.8

3. 自己評価チャート

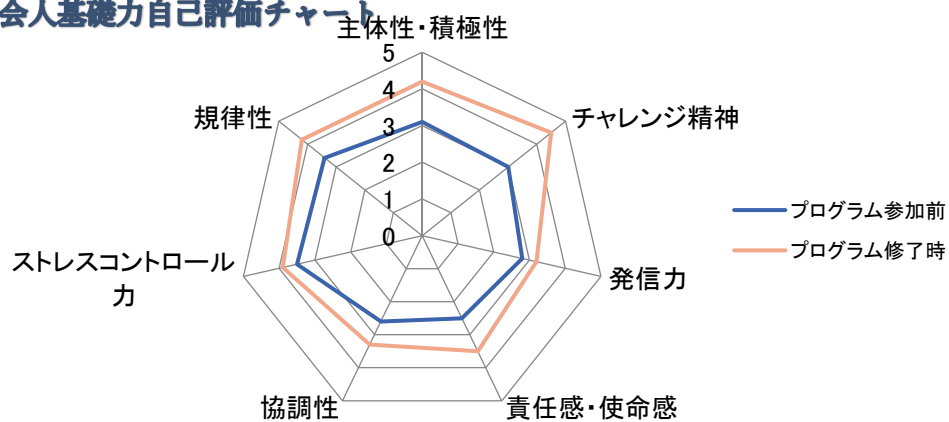
語学力自己評価チャート



異文化適応能力自己評価チャート



人間力、社会人基礎力自己評価チャート



4. プログラム報告書

1 特に専念した学習項目を教えてください。
●英語の発音、リスニング ●英語を母国語としている人から英語を学ぶということで、スピーキングと発音 ●様々な課題をグループで取り組む際に英語で書いたり話すること ●リーディング、リスニング、スピーキング力、観察力 ●カナダのことについてテーマを一つ選び、二人一組になって行うプレゼンテーション
2 その成果について教えてください。
●リスニングは行く前から練習していたが、やはり本場ということもありスピードが尋常ではなく最初は聞き取れなかったが、少しは聞き取れるようになっていた。さらに、帰ってきてから留学生と話していると私の英語が上手と彼らに言ってもらえて自分の英語の実力が伸びたと実感した。 ●日本人には難しいと感じる R と L の発音の違いだったりアクセントの位置だったりをしっかりと学ぶことができた。 ●授業では様々なトピックについて英語で考え、グループワークで意見交換したりする機会が多く設けられており実践的な英語力、特にスピーキング、リスニング力がついただけでなく洞察力や傾聴力、視野が広がったと感じている。 ●メキシコの人とペアになるため、発音に癖のある英語を聞き取るために色々質問をしていたら話す力が身についた。
3 現地大学や本学職員の対応はどうか？
●みんなとても優しく、全然差別なんてなかった。現地にアジア人が多く住んでいるせいなのもあるが、ここなら海外の雰囲気は苦手と思っている日本人でも気楽に住めるなと思った。 ●わからないことはとても丁寧に教えていただいた。学内の自動販売機の使い方がわからなかったが、職員さんに教えてもらい、無事に購入できるまでサポートしてくださった。 ●あまり関わることも多くはなかったがとても親切に対応していただいた。 ●職員の方は緊急の対応にもすぐに対応をしてくださった。クラスの先生は、とにかく明るい人たちがばかりで英語を話す楽しさを教えてくれた。
4 大学・学校生活中、トラブルはありましたか？それをどのように解決したか教えてください。
●あまり大きなトラブルはなかったが何かわからないことがあればすぐ周りの人に聞いたり調べるように意識して行動するように心がけていた。
5 その他（任意）
●大学からの帰りに交通系 IC カードをバスの中で落とした。UBC の学生が、走って届けてくれた。UBC には親切な学生さんが多い。
6 現地の人と交流して気づいた異なる習慣はありますか？異文化コミュニケーション・カルチャーショックを教えてください。
●海外でスーパーやレストランに行った時に必ず“How are you?”と聞かれる。ほかの英語ができる現地の人とはそのまま会話が弾んでいたが、あまり英語ができない私たちはほとんどそれだけで終わってしまったので、そこでさらに英語を学ばないと…という気になった。ただ、カナダはアジア圏からの移民が多いためそこまで大きいコミュニケーションのカルチャーショックはなかったと思われる。 ●異なる習慣はありませんでした。私のホストファミリーの家では靴は脱いでいた。カルチャーショックはありませんでした。 ●バスや電車に乗る際、お年寄りや小さい子供連れの方が入ってきた瞬間に皆席を立てて譲っていたため、当たり前の習慣なんだと驚いた。 ●カナダの人は健康志向で、仕事終わりに運動をしたり外で過ごす人が非常に多かった。ビーチや公園で家族と一緒に夜遅くまで過ごしている人が多かった。 ●サイエンスワールドという体験型ミュージアムに行ったときに、年齢層関係なく大人も全力で楽しんでいる姿が日本とは違って素敵だった。

7 留学プログラムに参加して、身に着けることのできた知識やスキルはどんなものですか？

●カナダではアジア圏からの移民が多いとはいえ、ずっと英語で話すのでカタコトの英語しか話すことが出来ない私にとって現地の人との交流がチャレンジだった。逆に、言葉が通じないから一人で何とかしようではなくどんどんチャレンジしてみた。分かったことはカタコトでもコミュニケーションは取れるし、意思疎通ができたしなんだと感じた。そのようなことから、英語の発音やボキャブラリーも伸びたと思うが、何よりももともとあったコミュニケーション能力に更に磨きがかかったと思う。

●コミュニケーション能力が更に高まったなと思います。

●英語に囲まれた環境で生活することで英語力の向上、自然な表現をできるようになったのはもちろんだが、異なる文化や価値観に触れ、世界について知ることで視野を広げることができた。また授業後や休日一人で町に行ったり、現地の人とコミュニケーションをとるなかでコミュニケーション力や行動力がつき、予期しないトラブルに対処することにも慣れた。

●英語の単語力が増えた。また知らない人とのコミュニケーション能力も増えた。

●知らない人にも積極的に話しかけに行く力が身についたと思う。大学では発音に特に力を入れて授業をしていたため発音が以前より良くなったと思う。

8 留学プログラムを通してどんなことを学びとりましたか？

●今回の留学で分かったことは、チャレンジしてみるとどうにもならなさそうなことでも意外と何とかなるんだなと思った。たしかに本当に、どうしようもないときはあるけど、意外と何とかなるならどんどんチャレンジしてみてダメならダメで経験だと捉えながら生きていけばいいんじゃないかと考えが変わった。

●変化に柔軟に対応したほうが旅は面白い！！あとポジティブシンキングの大切さを学んだ。

●大学や日常生活の中で他の国やバックグラウンドを持つ人と交流する機会が多くあり、自分自身の考え方や習慣を見直すことができた。

●グループワークや問題解決において多様な視点をもつことが大切と感じた。また日本では周りを気にしたり遠慮しがちなこともあったが現地の人と交流するなかで自分に自信を持つことができるようになった。

●自分だけで考えることも大事だがグループワークの大切さが分かった。これにより自分だけでは分からないところも理解を深めることができた。

●間違えてもいいから大きい声で伝えることの大切さを学んだ。相手のことを知ろうと積極的に会話をしていくことが話す力の向上になると知った。

9 プログラムに参加して、自分に足りないと感じた知識やスキル等、学生が準備しておくよりよいことを教えて下さい。

●明らかな英語の勉強不足を感じた。ある程度の知識は学んで行くべきだったなと思ったが、英語が分からないから何も出来ないということもなく、何とかなる。だが、困ることは多くあると思った方がいい。

●お金を貯めてから行くこと。行く前はそんなに使う予定はなかったが、いざ現地ぬい行くと、至る所が楽しくてどんどんお金を使ってしまう。気づいたら当初の予算の2倍を超えており驚きすぎて目が飛んでいくかと思った。

●リスニング能力を少しでも磨いていけばよかった。

●日本人学生以外と話しているときや店で注文をオーダーしている際など英語で話しているつもりでも聞き返されたり通じないことも多くあったので英語の発音をもう少し意識して練習しておけばよかったと後悔した。

●リスニングも、最初現地の人の英語を聞いた時は前後の言葉がつながってたりして話しているスピードがとても速く感じたので慣れることが必要だと思った。また多国籍のクラスでは自国、日本についての知識や話のネタなどあればよかったと感じた。

●コミュニケーションをするための基本的な英語や自己紹介するときのネタがいたと感じた

●ボキャブラリーが足りないと感じた。YES,NOをはっきり言うことがまだ難しいなと感じた。

10 制度●通学●学費●生活費●観光などで次の学生に勧めてあげられるものはありますか？

●どこに行くにしても土地が大きいので車を持っていない限りバスは必ず使う。カナダの定期券はゾーン制なので遠くに行かない限り定期券で補える。現地に到着したらまず最初に定期券を買うべきだ。

●生活費は日本より高いので予算はできる限り多めの方がいいと思われる。

●観光はヴィクトリアかウィスラーはおすすめである。ヴィクトリアは晴れの日に行くと本当に最高だ。日本にはない土地の美しさと雰囲気の良いさを味わうことができた。ウィスラーは山なので日によってはとても寒い。上着を持っていくことをおすすめする。だが、海外ならではの建物や自然があってとても良い経験になること間違いなしだ。

- 日本食も美味しいし、バンクーバーに住んでいる人もいい人が多いので、すべてがおすすめです。
- バンクーバーは自然が豊かでどこに行ってもとてもきれいだった。特にスタンレイパークはダウンタウンからのアクセスもよく晴れの日に自転車を借りて島を一周すると景色もよく気持ちがよかった。またダウンタウンの近辺に治安が悪い通りもあり、変な人も多かったので注意が必要。
- 通学はバスで一ヶ月乗り放題を購入した 1 万円程度だった。
- バンクーバーはどこに行ってもきれいだが、自分はガスタウンの時計を見てほしいと思った。だが少し離れたところに出てしまうと危ない街に出てしまうので気を付けてほしい。
- 現金しか使えない場所はほぼないから、急いで空港で両替をする必要は全くない。Vbce での両替が一番レートが良い。できれば初日にコンパスカードを買った方が良い。ホームステイ先に何が用意してあるのか事前にしっかり確認をとることも大事だと思う。
- 物価が想像以上に高く 20 万円ぐらいいは使ってしまった。
- 大学のことに限っては、カナダの文化や雰囲気を体験したい人には非常におすすめのプログラムだが、語学の上達を図りたい人はこのプログラムではだいた物足りないと感じると思う。

11 プログラムを修了し、帰国後はどんな学生生活の計画を立てていますか？卒業後の計画も踏まえて書いて下さい。

- まず大学に戻り、今後も留学生達と交流を続け、英語の能力の向上を図りつついろいろな国の文化を知り理解を深め合い日本を好きになってもらいたい。そして自分がいろんな国への関心をさらに持つことが出来たらいいと思う。
- TOEIC や TOEFL も受験する。
- 将来の夢は具体的には決まっていなかったがこれからも違う国の人たちと交流はしていき、いずれ海外に身を置くことが出来たら嬉しい。そのために旅行関係の仕事に興味はあるがまだはっきりとは分からない。いま、ゼミの先生とそのことについて話している途中なので早い段階で取り組むことが出来たらと思う。そのために自由な時間がある今のうちに資格の勉強をしようと考えている。
- 決めつけて行動することがすべてではない、自分の視点を大切にすることも大切なんだと思った。今まで、自分が少数派の意見や考えだったりすると、私はダメだと思うところがあった。それを踏まえ、将来の職業選択を今までマスコミ関係の企業ではないといけなと思うところがありましたが、幅広い視点で見えていきたいなと思った。
- ランゲージパートナーなど留学生のサポートや TOEIC 受験を通して高いレベルで英語を学習続け、可能であれば大学生のうちに長期の留学をしたいと思っている。また留学を意識して留学生科目の履修など英語で行われる授業も履修し慣れていきたい。卒業後もワーキングホリデーや国際的な仕事に興味がある。
- このプログラムを生かし英語関連の資格の取得に力を入れたいと思う。また卒業後は何も考えていないがこの経験を生かして就活に生かしていきたいと思う。
- 空港のグランドスタッフとしてひとまず就職することになったため、より一層英語が話せるように勉強を続けたい。

12 その他、プログラムへの要望 ●意見がありましたら記入下さい。

- 意見ではないのですが一言加えさせてください。今回は初めてカナダ留学が立ち上がったということもさらに台風が重なったということもあり、序盤からみんなバタバタしながらの留学だったと思います。そんななかいろいろな手配やサポートをしてくださった学長や国際交流センターの方々には感謝しかありません。とても貴重で、本当に楽しい経験になりました。人生で一番といっても過言ではありません。これから今回の留学を超すような人生にできるように努力します。本当に皆さん、ありがとうございました。
- 部活動に入ってみたかったが、結局は入ってないです。期間も短いので。